

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(9)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(9)—

#### 1. 始めに

前報(8)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 と ThorensTD124 を使用します。

アナログシステムの状況については、今回から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-12 と ThorensTD124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から光城精工のアース専用ケーブル Clone 2 に代わっていることです。

また、ZANDEN Model120 から Line 入力する Brooklyn DAC+にも、仮想アース Crystal E を付属の Y-Y 端子ケーブルで接続しています。

音源は、新たにモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も、弦楽五重奏です。

DENON OS-7172-ND

モーツアルト 弦楽五重奏曲第 2 番ハ長調

弦楽五重奏曲第 6 変ロ長調

スメタナ四重奏団

ヨゼフ・スーク (第 1 ヴォオラ)

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

DENON 盤ということで、Columbia、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。LINN LP-12 の再生では、前報(8)と同様、DENON の PCM 録音の音の固さの印象は感じられませんし、前報(8)からのアースケーブルや追加の Crystal E により、切れ味の良さに加えて、ふくよかな印象も加わってきています。

ThorenTD124 の再生では、音の固さの印象は感じられませんし、前報(8)からのアースケーブルや追加の Crystal E により、適度に艶のあるクリアーな音になっています。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E や Clone2 の導入および ThorenTD124 のターンテーブルシートの交換などの総合的な効果として、DENON の PCM 録音の生硬な印象が払拭され、LINN LP-12 と ThorenTD124 それぞれの味わいを引き出しています。

以上